

2023年3月31日

報道機関 各位

「北東アジアにおける核使用の非人道的影響について:核リスク削減への示唆」報告書(英文)発表についての記者会見

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）では、昨年度より、ノーチラス研究所、アジア太平洋核軍縮・不拡散リーダーシップネットワーク（APLN）との国際共同研究として、「北東アジアにおける核使用リスクの削減（NU-NEA）」プロジェクトを立ち上げました。北東アジア地域にて、どのような条件下なら核兵器が使われてしまうのか。万が一使われてしまったらどのような影響が出るのか。このような問いに答えることで、核抑止論のもつ潜在的リスクを明らかにし、二度と核兵器が使われないよう具体的施策への提言につなげることが大きな目的です。この度、このプロジェクトの2年目の報告書「Humanitarian Impacts of Nuclear Weapons Use in Northeast Asia: Implications for Reducing Nuclear Risk」（英文）を発表するにあたり、下記の記者会見を開催いたします。報告書では、核兵器が使用される5つの事例について、どのような人的・物理的被害が起こりうるか、定量的評価を行っています。なお、報告書（英文）と要旨（日本語、韓国語、ロシア語、中国語）につきましては、RECNA ウェブサイトに公表（https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/nu-nea_project2021-2023）いたします。

ご多忙中誠に恐れ入りますが、ご出席賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

■Web サイト公開日：3月31日（金）（11:00）

■会見について

・日時：2023年4月7日（金）11:00より（1時間程度）（逐次訳付き）

・場所：長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）1階会議室

オンライン（Zoom）での取材をご希望の方は、準備の都合上、4月6日（木）17時までに下記問い合わせ先までメールにてお申込みください。Zoomリンクをお送りします。

・出席者：	吉田 文彦	RECNA センター長
	鈴木 達治郎	RECNA 副センター長
	Peter Hayes	ノーチラス研究所所長*
	David von Hippel	ノーチラス研究所 上席研究員*
	Eva Lisowski	米マサチューセッツ工科大学研究員・ 東京工業大学大学院修士課程

*オンライン参加

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学核兵器廃絶研究センター

TEL: 095-819-2164 Email :recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp